



2019年11月28日

各 位

会 社 名 ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 高 田 昭 人  
(コード番号：6615 東証第一部)  
問 合 せ 先 取締役副社長 副社長執行役員 管理本部本部長  
仙 波 陽 平  
(TEL. 048-724-0001)

特別利益の計上及び特別損失の計上並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月期第2四半期において計上いたしました特別利益及び特別損失並びに未定としていた配当予想の修正について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

退職給付制度移管に係る負担金

2020年3月期第1四半期に、従来複数事業主により設立された基金が実施する確定給付企業年金制度に加入していた国内連結子会社が当該基金を脱退し、2019年7月1日付でリスク分担型企業年金制度を発足させました。本変更に伴う終了損失、任意脱退掛金拠出額及び特別掛金の合計848百万円は、第1四半期連結会計期間において退職給付費用として特別損失に計上いたしました。

上記の脱退及びリスク分担型企業年金制度の発足に関連し、同子会社非支配株主との株式譲渡契約に基づく調整金銭額を1,164百万円とすることを当第2四半期連結会計期間において合意し、同額を退職給付制度移管に係る負担金として特別利益に計上しております。

2. 特別損失の計上について

① 過年度決算訂正関連費用の計上

2019年10月28日付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて公表いたしました通り、当社は過年度の不適切な会計処理について外部調査委員会を設置し、全容の解明及び過年度決算の訂正を実施いたしました。これらの関連費用のうち2020年3月期第2四半期決算日までに発生した、過年度決

算訂正関連費用 1,461 百万円を特別損失に計上しております。この費用は主に外部調査委員会による調査費用並びに会計監査費用及び外部委託費用等であります。

なお、外部調査委員会による調査及び過年度決算訂正作業は、10月28日まで継続したため、当第2四半期決算日以降の役務提供に係る部分は現在集計中であります。当第2四半期連結累計期間に費用計上している部分も含め、第2四半期報告書提出時点での集計総額は約23億円であります。

## ② 減損損失の計上

2020年3月期第2四半期連結会計期間において、収益性の低下した事業所に係る事業用資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、減損損失541百万円を特別損失に計上いたしました。

## 3. 業績に与える影響について

当社は、不適切会計処理問題を踏まえた経営体制の見直し、事業計画の再策定を検討しており、これらが業績に与える要素は現段階で未確定であるため、連結業績予想を未定とさせていただきます。本特別損失の計上による業績への影響につきましても、業績動向等に鑑みて精査し、業績予想に修正がある場合には、速やかに公表いたします。

## 4. 配当予想の修正について

基準日	1株当たり配当金 (円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2019年10月28日公表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	—	—
当期実績		0.00	—		
前期実績 (2019年3月期)	—	0.00	—	30.00	30.00

### 修正の理由

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付け、安定配当の継続を基本方針としながらも、上記の特別損失計上に加え、不適切会計処理問題による業績への影響も未確定であるため、当第2四半期末の配当を行わないことといたしました。

以上